

## 「CODATA2006-IAUD2006 中継」 報告

(イベント番号 177)

第 20 回 CODATA (Committee on Data for Science and Technology) 国際会議 (北京) と IAUD (International Association for Universal Design) 2006 第 2 回国際ユニバーサルデザイン会議 (京都) との会場を結んで、「科学者とデザイナーとの対話」合同セッションを実施した。日時は北京時間で 2006 年 10 月 25 日 10 : 15 - 11 : 00AM である。

本セッションは科学者とデザイナーとの本格的な対話を開始するための挑戦的な試みで、このパネル討論は、科学技術データに関する活動を中心にした CODATA と一人一人の人間性を尊重した社会環境づくりに焦点をあてた IAUD との分野の異なる 2 つのグループの初めての対話の場として企画された。時差が 1 時間の北京 - 京都をインターネットで同時中継し、初対面で異分野の人間が意見交換をするという極めて挑戦的なイベントで、実施すること自体が大きな意義のある試みであった。

出席者は CODATA から S. Iwata, R. S. Chen, J. Wu, D. Chui and K. Ueda, IAUD から K. Kato, M. Cassim, M. Kubo and J. Clarkson 各氏がパネリストとして参加し、双方の活動報告とグローバルな視点からの社会との接点に着目したコラボレーションについて議論を行った。国連の情報社会サミット WSIS (World Summit on the Information Society) 2003, 2005 での問題設定を受けて、科学技術に関するコンテンツを社会の様々なコンテキストの中で如何にインプリメンテーション、つまりデザインするかがコラボレーションの焦点であった。

パネルは北京側への京都側からの中継から開始された。中継内容は、ケンブリッジ大学 John Clarkson 教授 (EDC センター長) の基調講演である。これは北京側のコーヒブレークを利用したセッションで、当日のインターネット中継の可否についての予備的な確認のために実施し、画像、音声ともに適切に伝達されていることを確認した。10 月 25 日 10 : 15 から 11 : 00 までが本番である。10 : 15 に北京側の代表である岩田修一 CODATA 会長 (東京大学教授) から合同セッション開始の挨拶があり、上記の目的が述べられ、双方のパネリストの自己紹介があった。

CODATA でのデータ活動の概要についての岩田教授からの説明後、Bob Chen 氏

(CODATA Secretary General, コロンビア大学) より国連ミレニアムゴールに関連して、災害、貧困、持続的発展、環境等々と地域に密着した問題についてデータの概要が示され、災害時における障害者への配慮が必要であることが指摘された。

京都側のトップバッターはIAUD加藤公敬氏（富士通デザインセンター）でユニバーサルデザイン、インクルーシブデザインについての紹介があった。これを受けて北京側から呉北京航空航天大学経済学部長から環境問題、特に水とリサイクル経済の問題、崔北京大学医学部教授からの中国における老人問題についてのデータ、上田完次東京大学教授から新たなデザイン手法、京都側からはインクルーシブデザインについてJohn Clarkson教授、科学とデザインとの関係についてMonte Cassim立命館大学副総長、ユニバーサルデザインについて久保雅義京都工芸繊維大学教授からそれぞれの現状と課題についての報告があり、最後に岩田教授、加藤ディレクターからセッション総括としてグローバルな価値創りのために対話を継続することの重要性が指摘された。

JGN II 利用にあたっては、関係者の多大なご協力により、パネリスト間の円滑なコミュニケーションが可能となった。つまり、北京、京都それぞれのサイトにおける言語（英語、日本語、中国語）、映像機器、ツール類の規格、バージョン他の違いを乗り越えて完璧に実施された。参加者数は北京側、京都側合わせて約 200 名で、成功裏にセッションを実施できた。

最後に本イベントの実現にあたってご協力いただいたJGN-II 関係者と異分野融合という本プロジェクトの企画、実施、技術サポートに甚大な協力をいただいた下記の方々に感謝したい。この方々の協力なしにこの特別セッションは実施できなかったと考えている。

【ご協力、ご支援をいただいた方々、組織（順不同）】

長尾 真氏（情報通信研究機構）、村井 純氏（慶應義塾大学）、安東 孝二氏（東京大学）、芦野 俊宏氏（東洋大学）、川原 啓嗣氏（IAUD）、高元 昭紘氏（立命館アジア太平洋大学）、中村 素典氏（京都大学）、加藤 公敬氏（富士通）、保坂 幸彦氏（株式会社プロファクトリー）、大平 健司氏（京都大学）、北村 氏（成安造形大学）、岡 伸人氏（東京大学）、Wang Hao氏（東京大学）、渥美 和弥氏（東京大学）、Jia Junjun氏（東京大学）、Le Ricky Lu氏（BII Group Holdings Ltd.）、Jason Wang氏（CAS）、豊田 麻子氏（情報通信研究機構）他、東京大学、京都大学、JGN II、Wide Project、Cisco Systems、Future Planet Co., at&tの関係者。